

# 2022年中の人口の動き

## ～ 目次 ～

I 人口動態 .....	1
1 概況.....	1
2 区別の状況.....	2
3 日本人・外国人別の状況.....	2
II 自然動態 .....	3
1 概況.....	3
2 区別の状況.....	3
3 出生・死亡.....	4
III 社会動態 .....	6
1 概況.....	6
2 区別の状況.....	6
3 転入・転出・転入超過の状況.....	10
(1) 相手地域別の状況 .....	10
(2) 年齢別の状況.....	14
(3) 年齢別・相手地域別の状況.....	15
IV 参考表 .....	17
表1 人口の動きの推移 .....	17
表2 月別人口の動き .....	18
表3 日本人・外国人別人口の動きの推移 .....	19
表4 自然動態の推移.....	20
後掲表.....	別表

### 利用上の注意

ここで述べる人口の動きは、住民基本台帳法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。（平成24年（2012年）7月8日までは外国人登録法の規定に基づく届出を含む。）

「自然動態」とは、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きであり、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きである。これらの自然動態と社会動態を合わせた人口の動きを「人口動態」という。

また、グラフ上、死亡数・転出数を負の値として表示しているものがある。

### 用語の解説

人口増減数＝自然増減数＋社会増減数

自然増減数＝出生数－死亡数

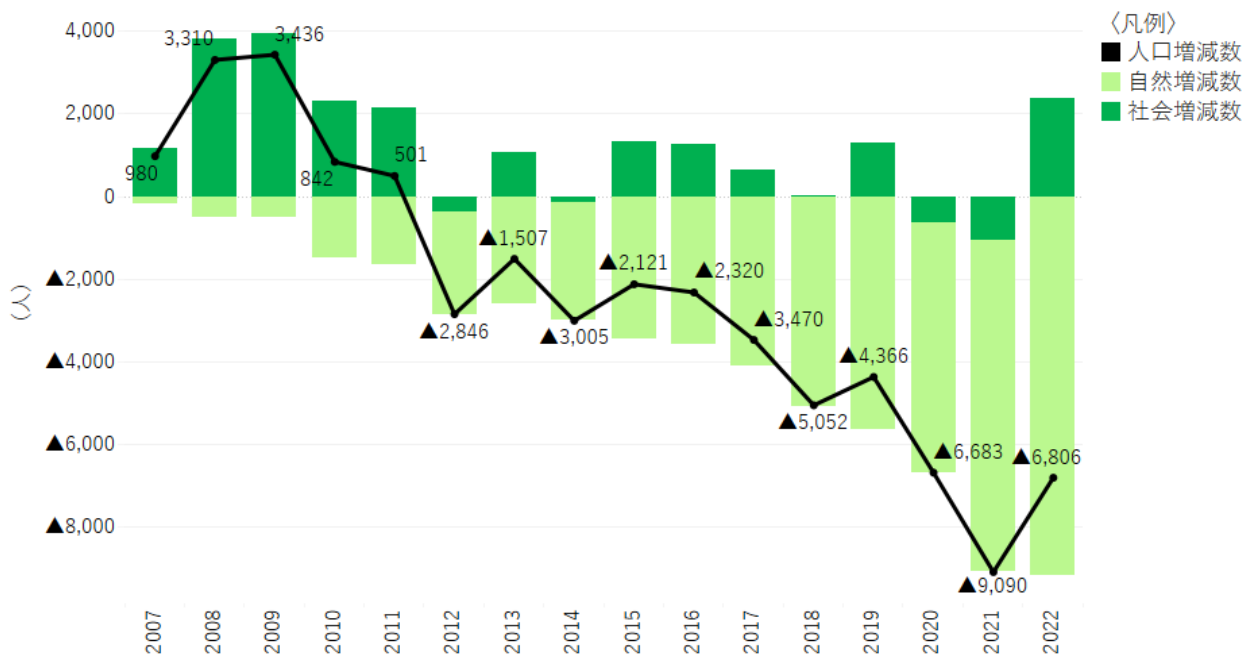
社会増減数＝社会増（転入、その他の増）－社会減（転出、その他の減）

# I 人口動態

## 1 概況

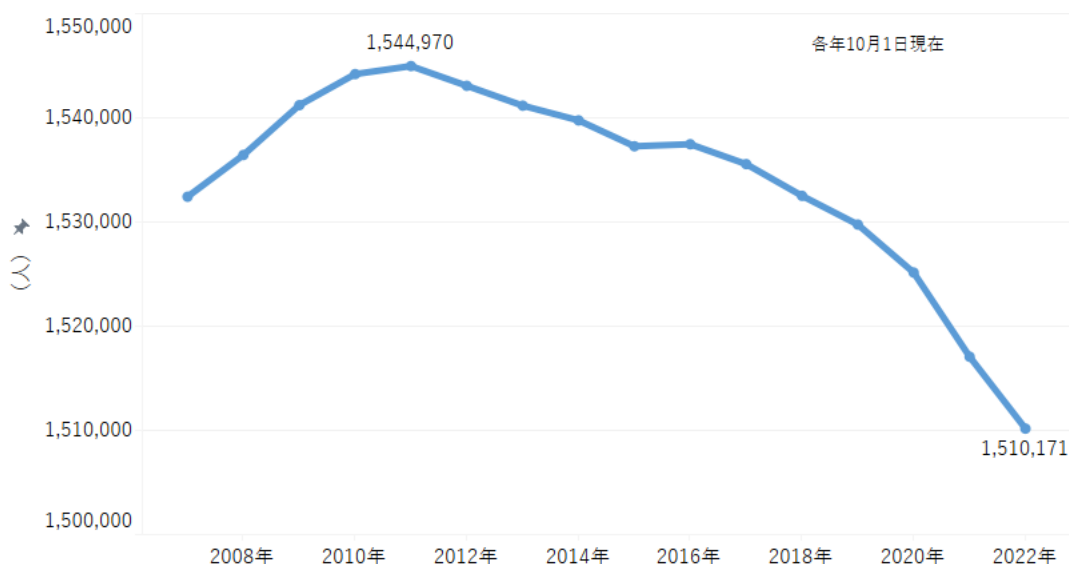
- 人口増減数は 6,806 人の減少で 11 年連続の人口減少。
- 自然増減数は 9,173 人の減少。
- 社会増減数は 2,367 人の増加。

図1 人口増減数の推移



資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

図2 推計人口の推移

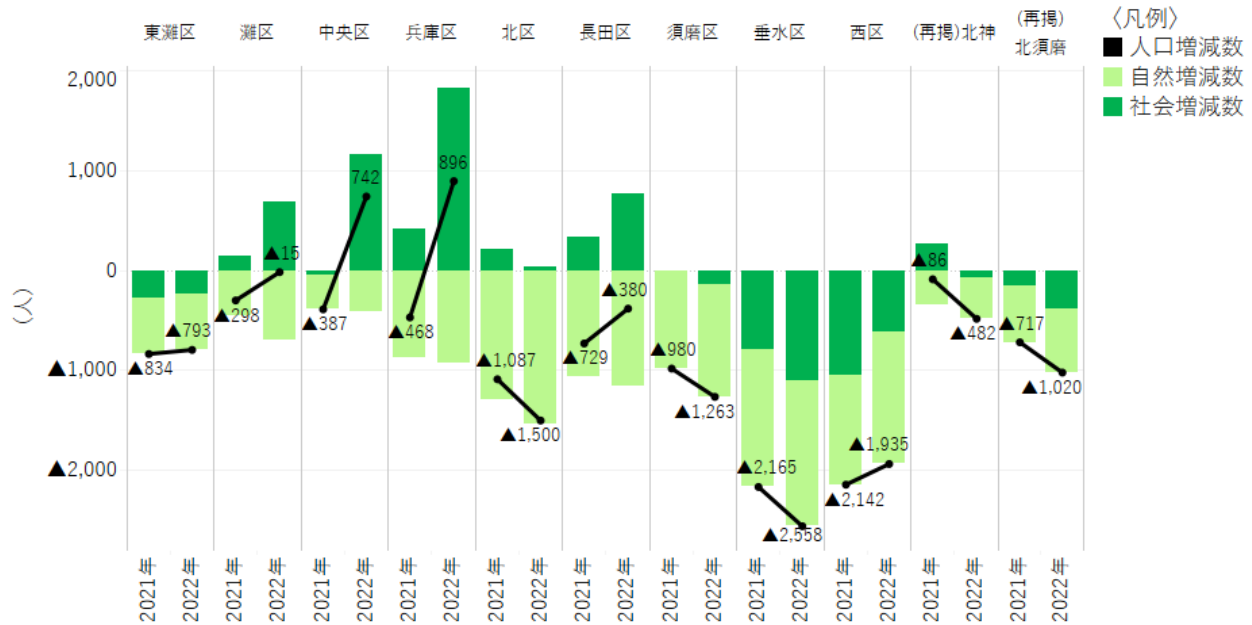


注) 2007年～2009年、2011年～2014年、2016年～2019年は、それぞれ2005年、2010年、2015年、2020年の国勢調査結果(確定数)に基づき補間補正した人口により算出している。よって、住民基本台帳上の人口の増減とは一致しない。

## 2 区別の状況

- 中央区、兵庫区は人口減少から人口増加に転じた。
- 人口減少の区のうち、人口減少幅が縮小した区は東灘区、灘区、長田区、西区。対して北区、須磨区、垂水区は減少幅が拡大した。

図3 区別、人口増減数

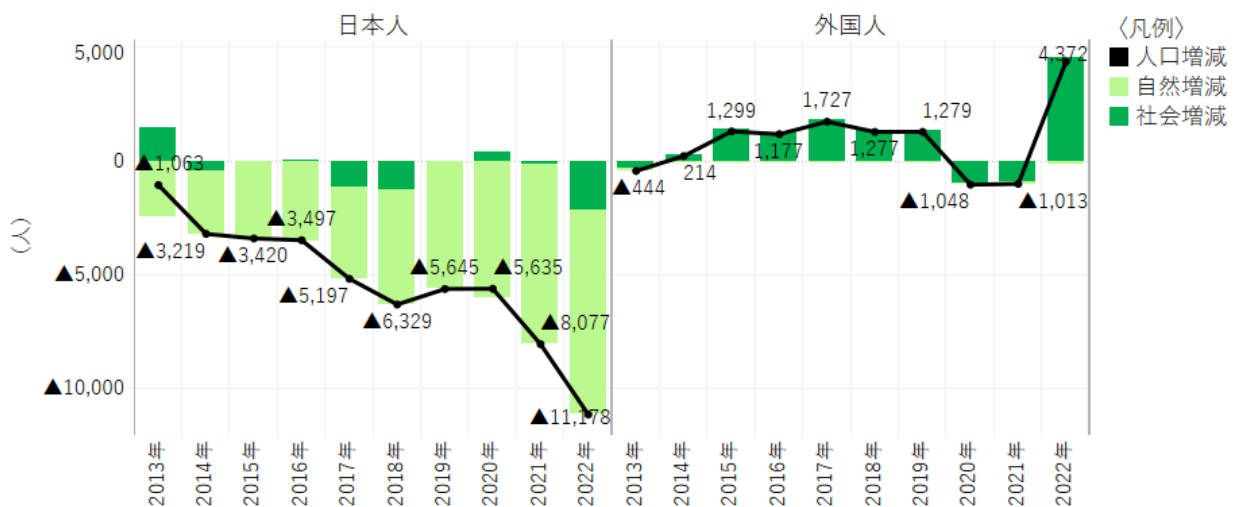


資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

## 3 日本人・外国人別の状況

- 人口増減数は日本人が11,178人の減少、外国人が4,372人の増加。
- 自然増減数は日本人が9,008人の減少、外国人が165人の減少。
- 社会増減数は日本人が2,170人の減少、外国人は4,537人の増加。

図4 日本人・外国人別、人口増減数の推移



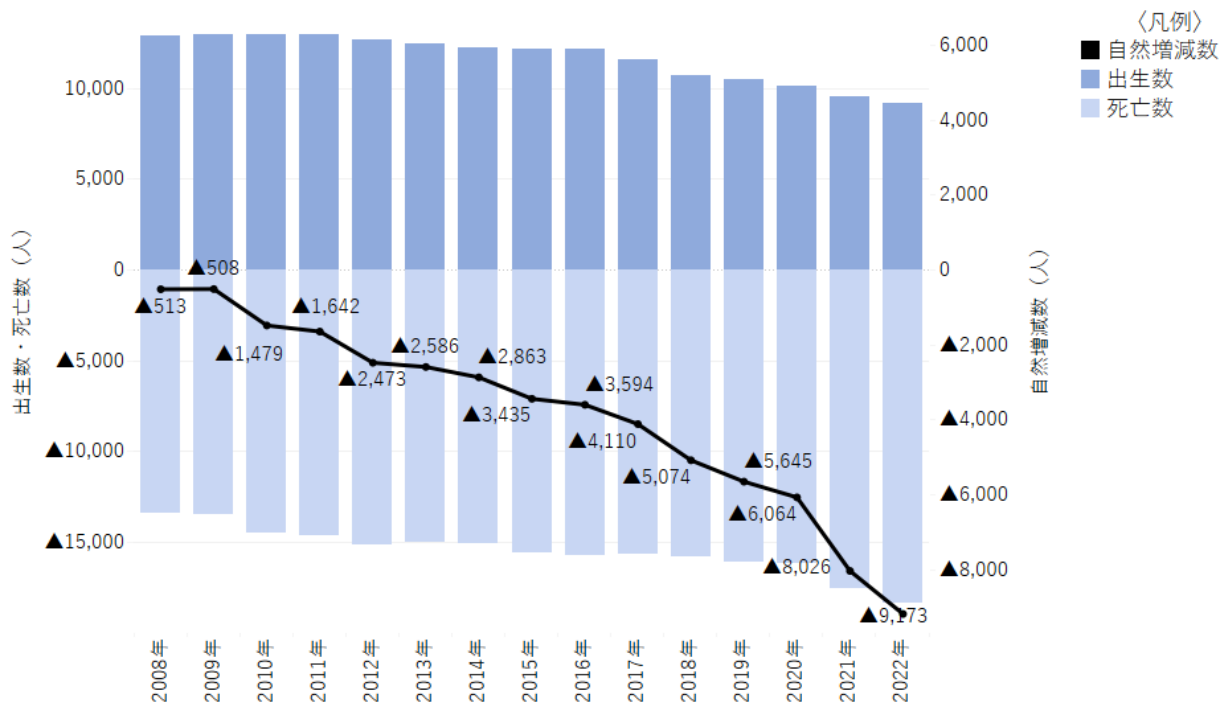
資料：IV参考表「表3 日本人・外国人別人口の動きの推移」

## II 自然動態

### 1 概況

- 自然増減数は 9,173 人の減少で、16 年連続の減少。
- 出生数は 9,196 人、前年より 341 人減少。
- 死亡数は 18,369 人、前年より 806 人増加。

図5 自然増減数の推移

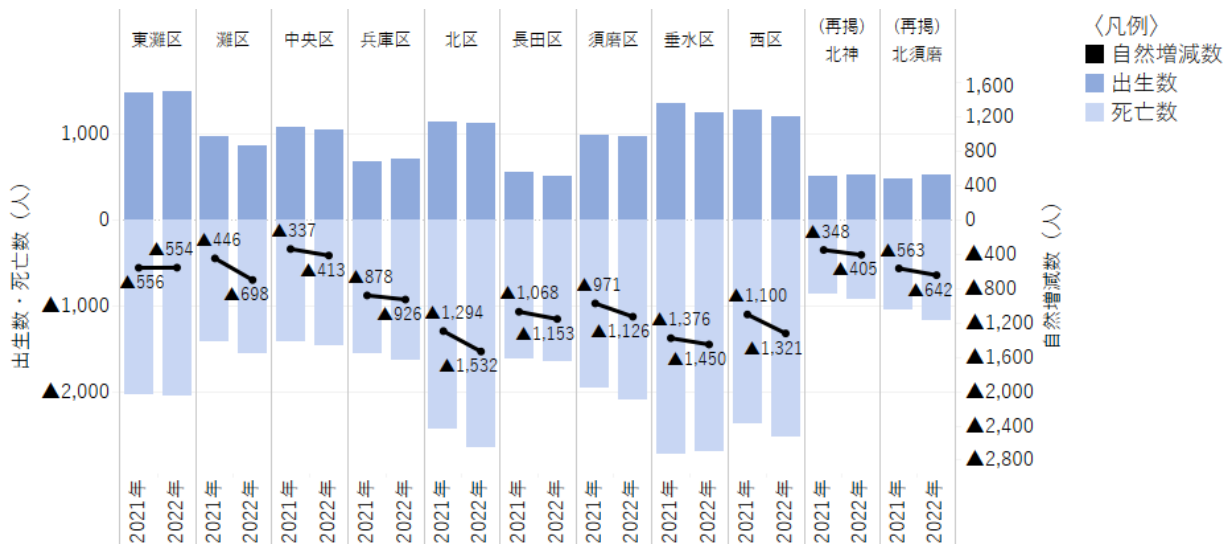


資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

### 2 区別の状況

- 全ての区で自然減少。
- 自然減少数が最も大きかったのは北区、次いで垂水区。
- 東灘区を除く全ての区で自然減少数が前年より拡大した。

図6 区別、自然増減数

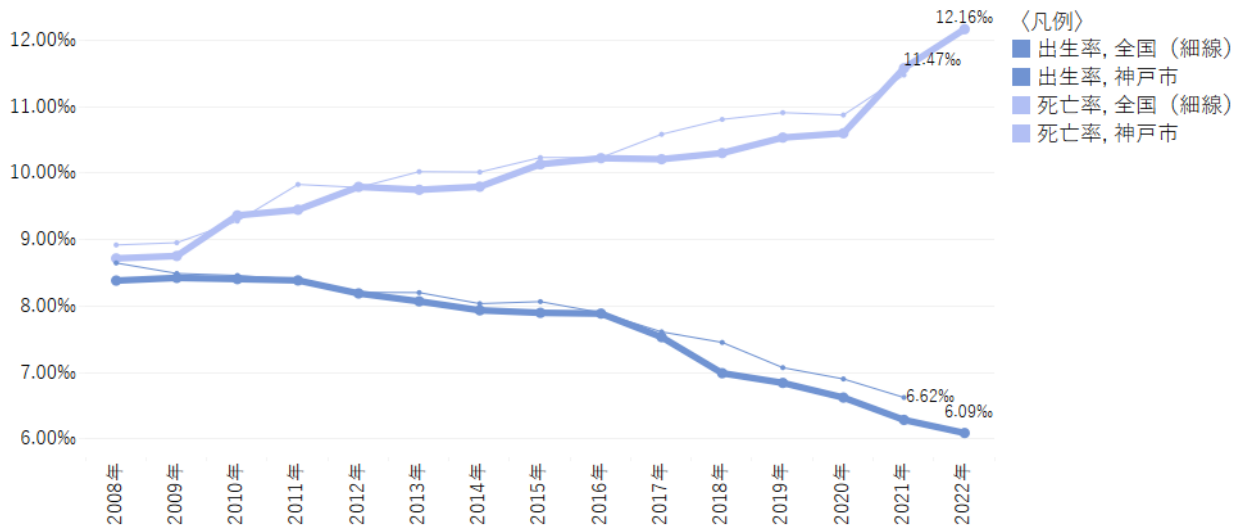


資料：後掲表「第2表 区別人口動態の推移」

### 3 出生・死亡

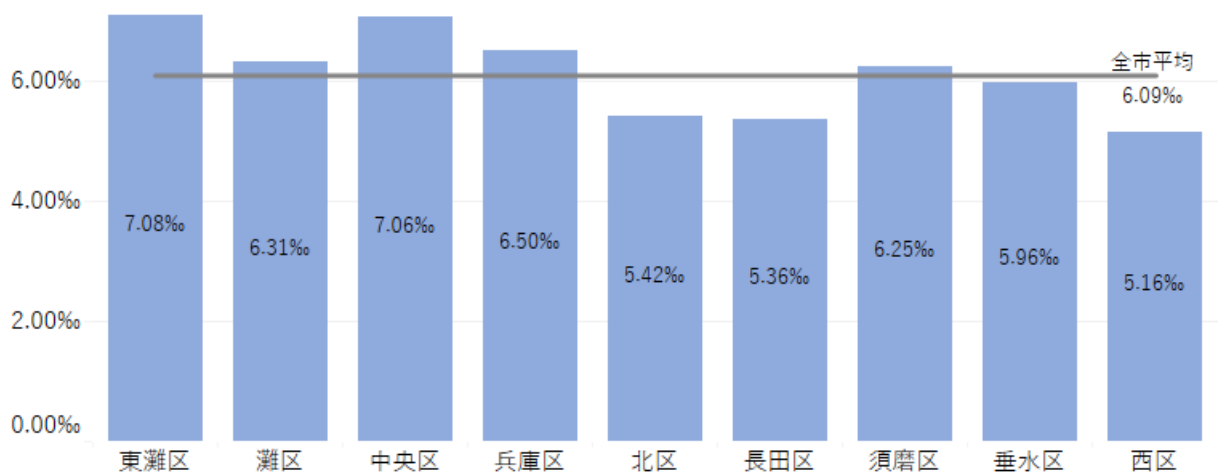
- 出生率は6.09%で、前年より0.20ポイントの低下。死亡率は12.16%で、前年より0.58ポイントの上昇。
- 出生率が最も高い区は東灘区、次いで中央区。対して最も低い区は西区、次いで長田区。
- 死亡率が最も高い区は長田区、次いで兵庫区。対して最も低い区は東灘区、次いで中央区。

図7 出生率・死亡率の推移



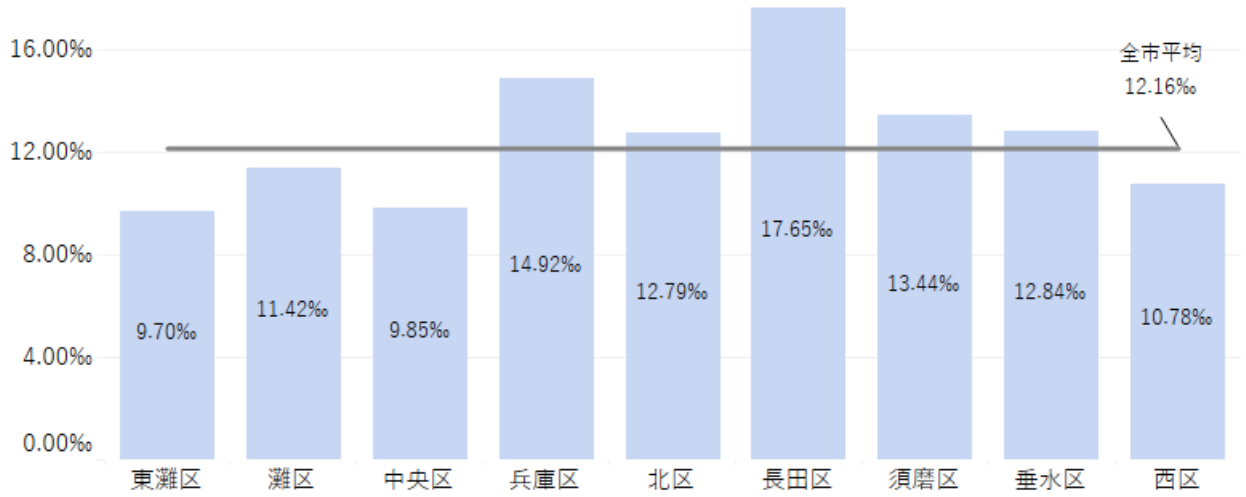
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」、総務省統計局「人口推計月報」（全国）

図8 区別、出生率



資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

図9 区別、死亡率



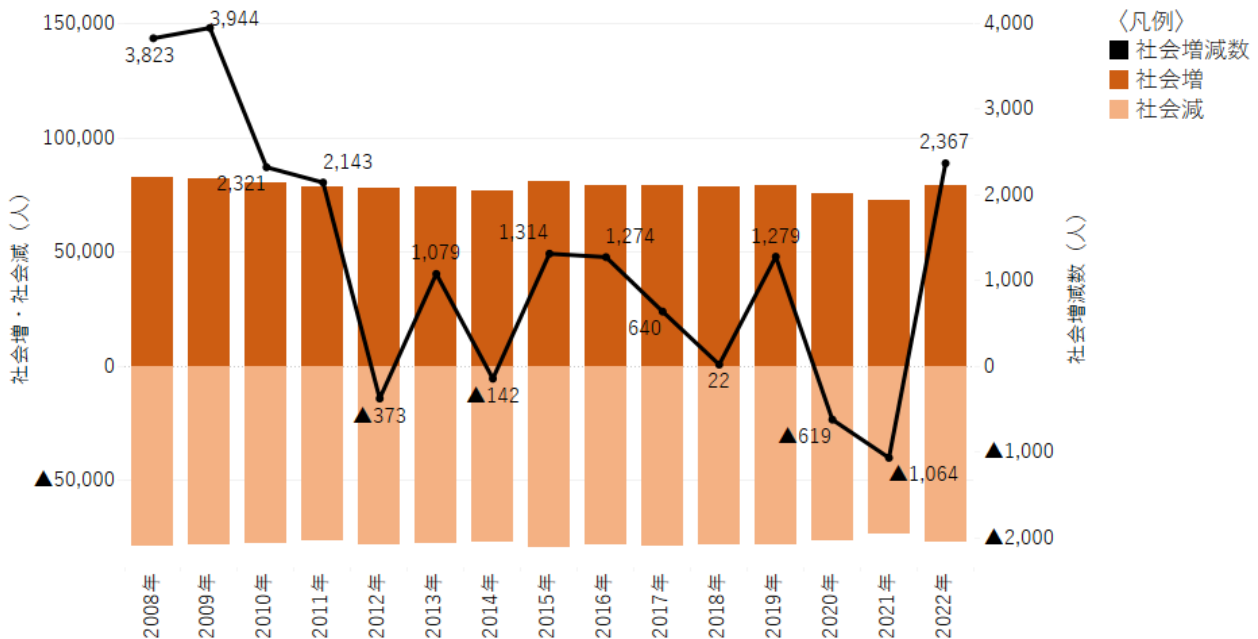
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

### III 社会動態

#### 1 概況

- 社会増減数は 2,367 人の増加で社会減少から社会増加に転じた。
- 社会増は 79,180 人で前年より 6,651 人増加。うち、市外からの転入数は 53,947 人で前年より 7,213 人増加
- 社会減は 76,813 人で前年より 3,220 人増加。うち、市外への転出数は 50,231 人で前年より 3,740 人増加。

図10 社会増減数の推移



資料：後掲表「第1表 人口の自然動態及び社会動態」

#### 2 区別の状況

- 社会増加となった区は灘区、中央区、兵庫区、北区、長田区。
- 須磨区、垂水区においては、減少幅が拡大した。

図11-1 社会増減数の推移（東灘区）

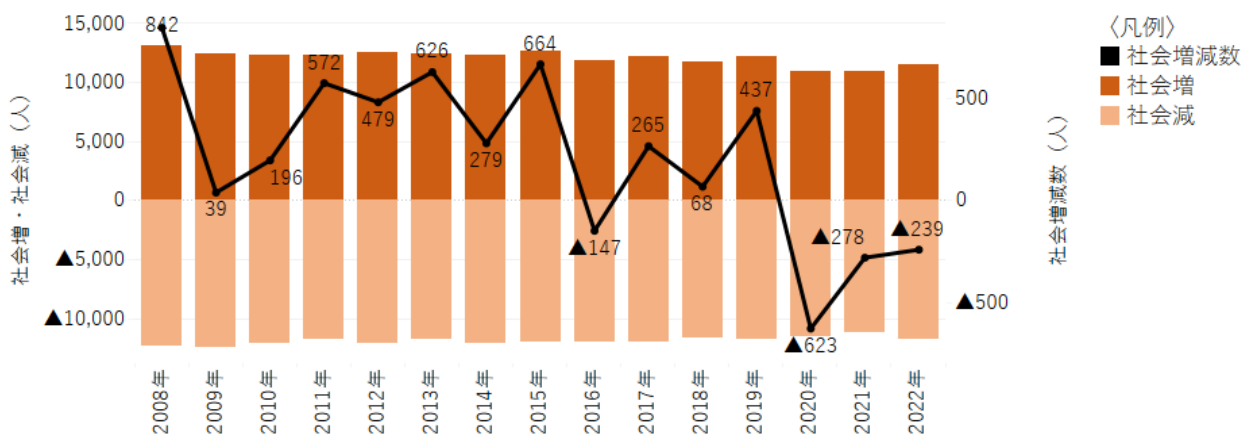


図11-2 社会増減数の推移（灘区）

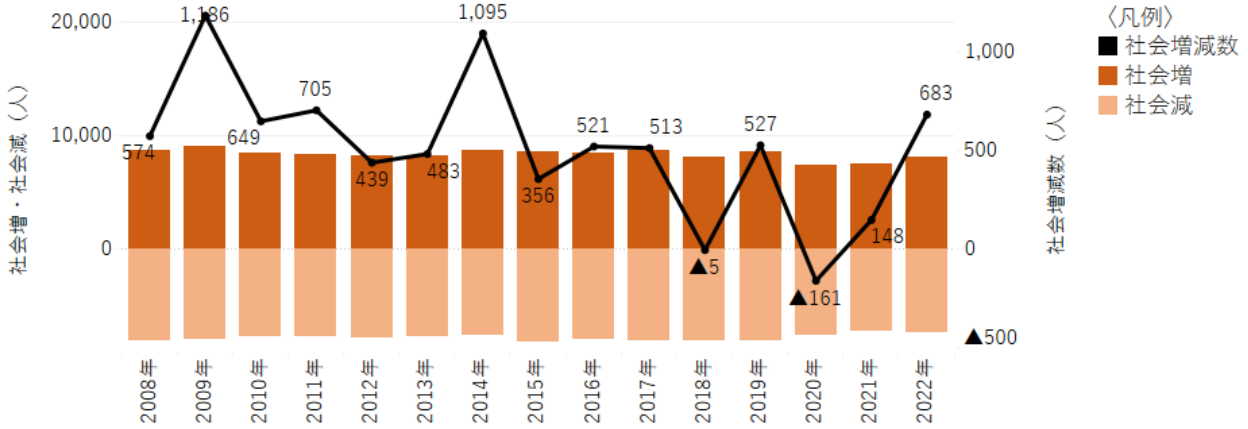


図11-3 社会増減数の推移（中央区）

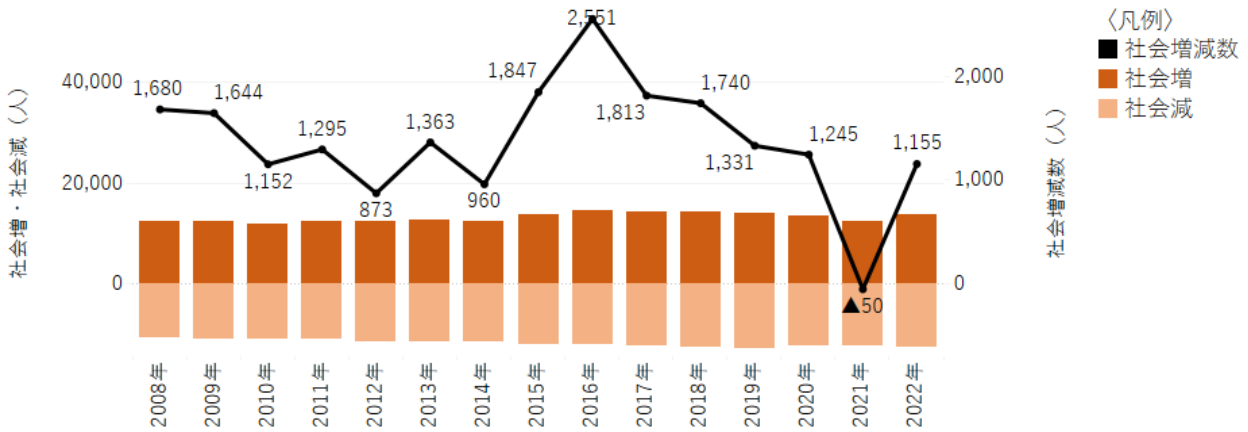


図11-4 社会増減数の推移（兵庫区）

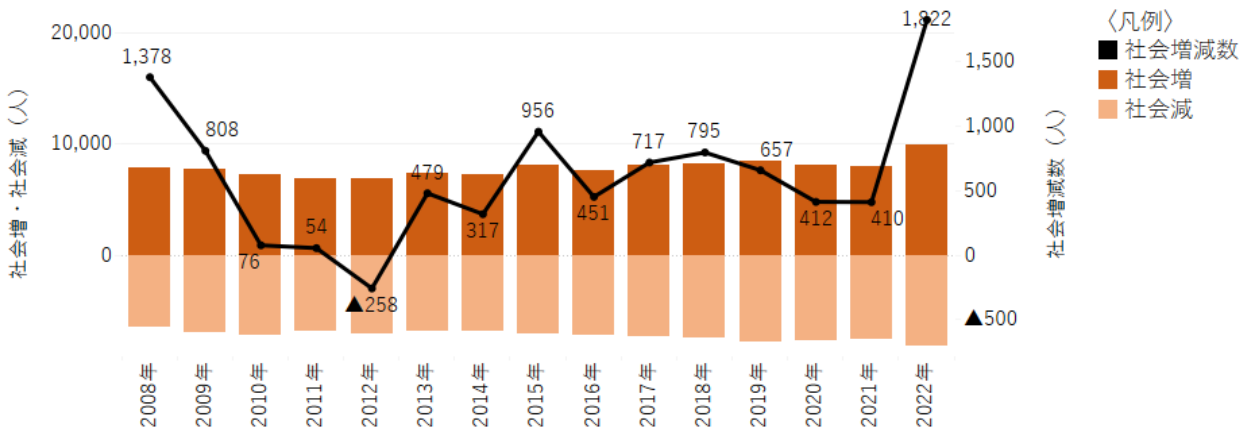




図11-5 社会増減数の推移（北区）

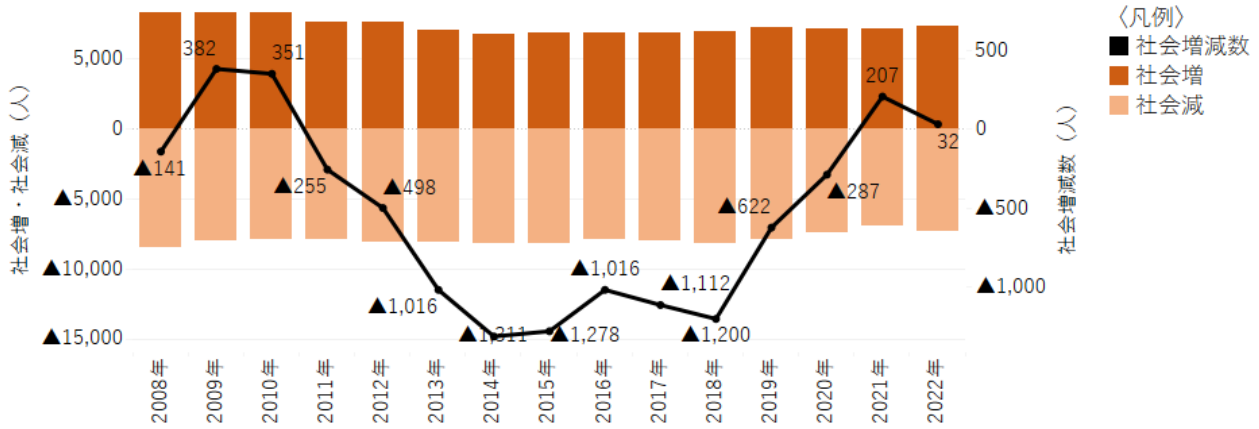


図11-6 社会増減数の推移（北本区（左図）・北神（右図））

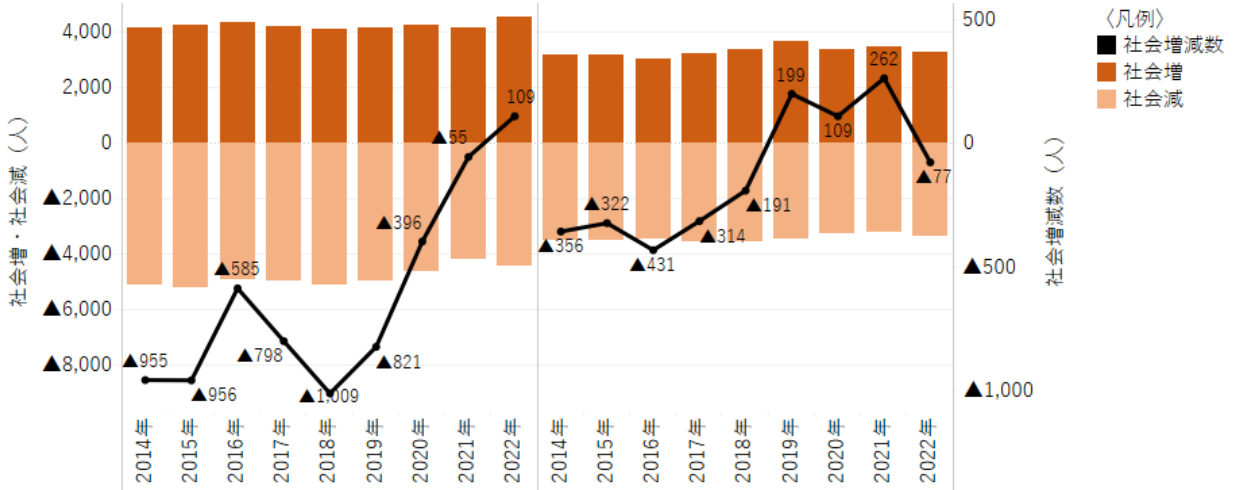


図11-7 社会増減数の推移（長田区）

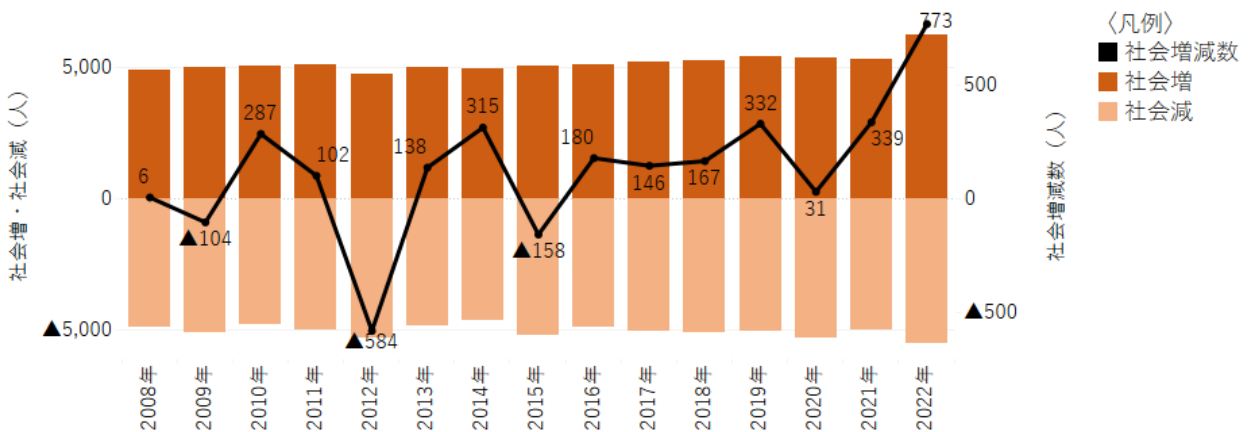


図11-8 社会増減数の推移（須磨区）

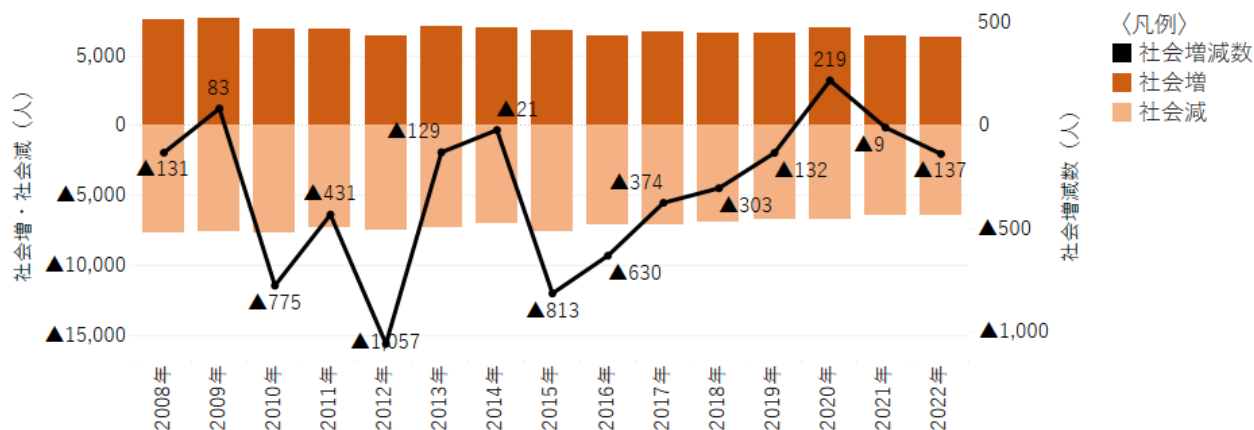


図11-9 社会増減数の推移（須磨本区（左図）・北須磨（右図））

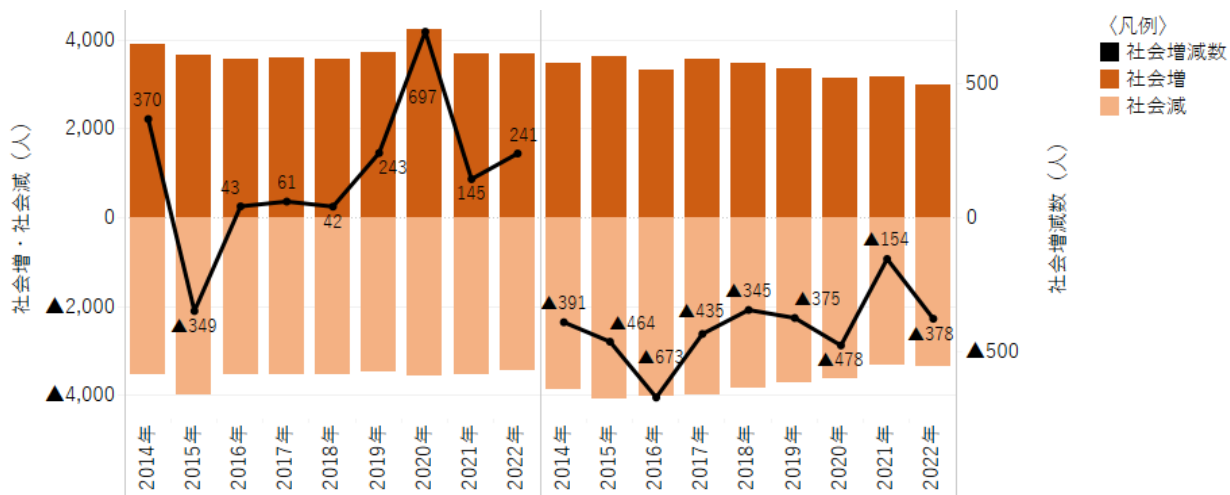


図11-10 社会増減数の推移（垂水区）

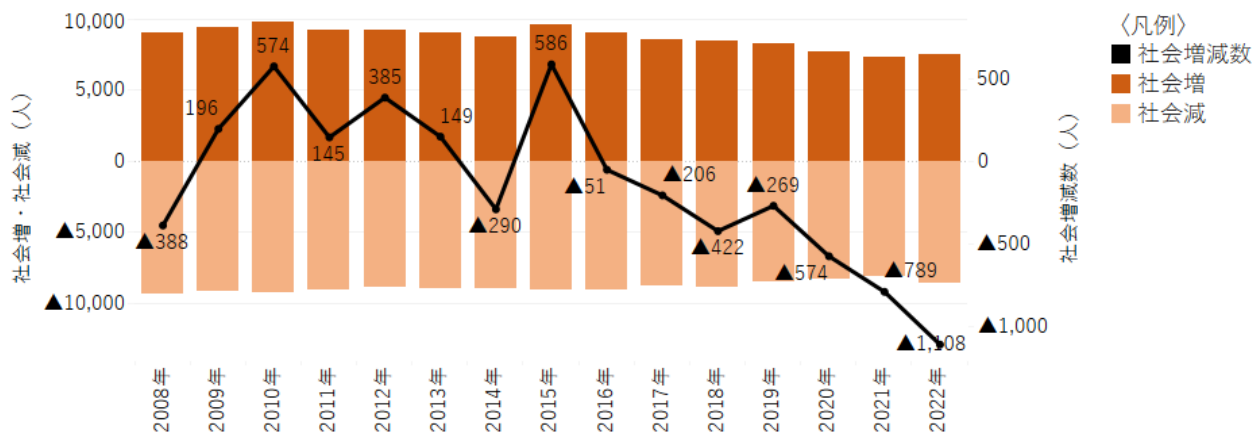
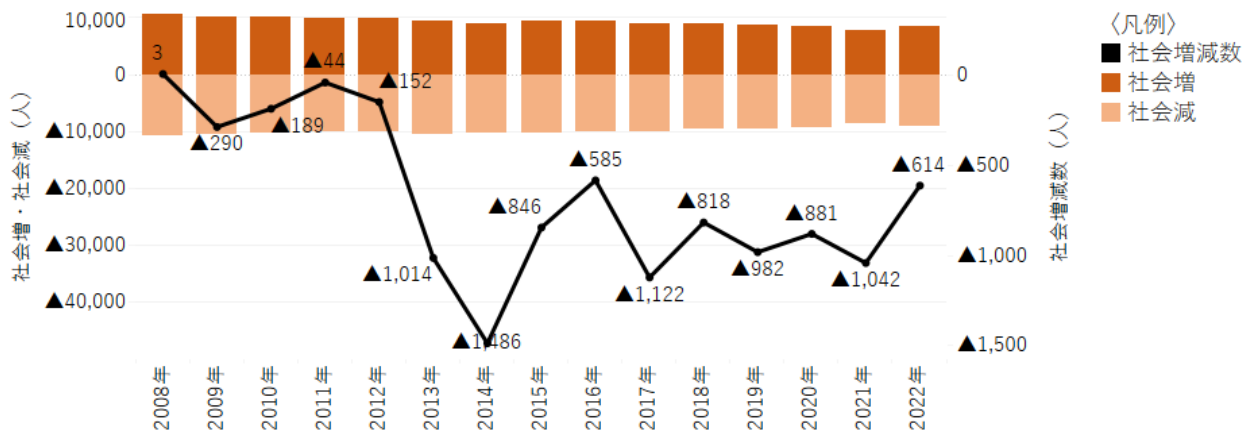


図11-11 社会増減数の推移（西区）



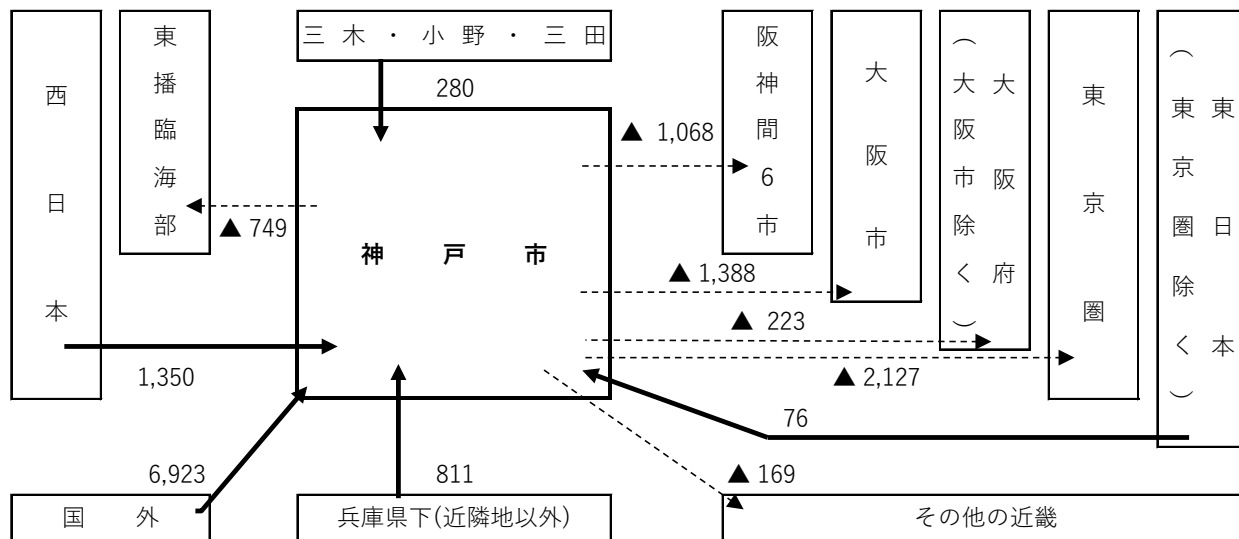
資料：後掲表『第2表 区別人口動態の推移』（図11-1~11）

### 3 転入・転出・転入超過の状況

#### (1) 相手地域別の状況

- 転入超過だった地域は三木・小野・三田、兵庫県下（近隣地以外）、東日本（東京圏除く）、西日本、国外。
- 大阪府（大阪市を除く）、その他の近畿においては転入超過から転出超過に転じた。
- 東京圏への転出超過数は前年より761人拡大。

図12 相手地域別転入超過数（2022年）



※阪神間6市…芦屋市，西宮市，宝塚市，尼崎市，伊丹市，川西市

※東播臨海部…明石市，加古川市，高砂市，加古郡

※東京圏…埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

資料：後掲表「第5表 区、相手地域別転入超過数」

図13-1 転入超過数の推移（阪神間6市）

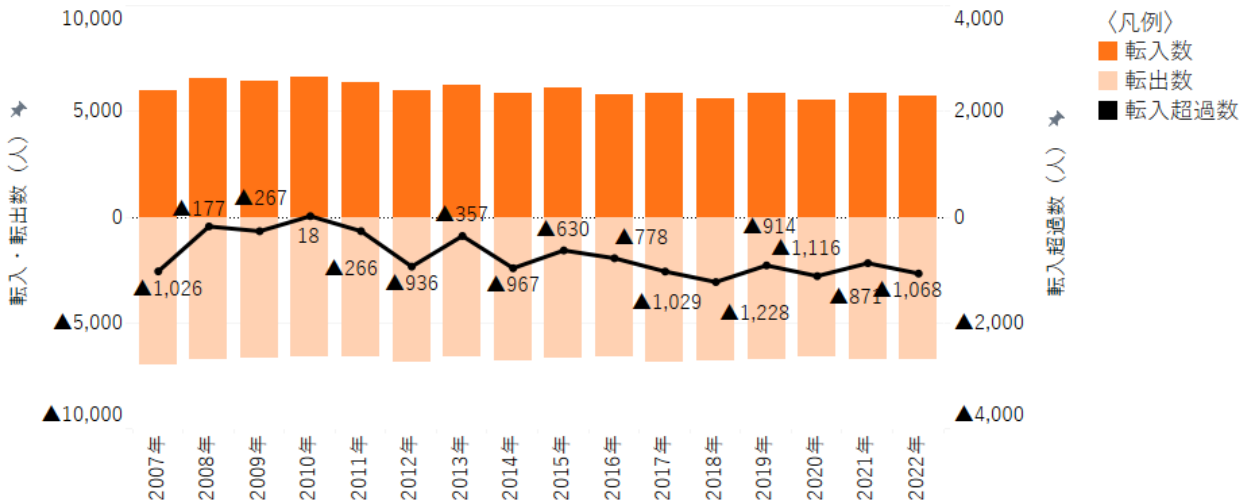


図13-2 転入超過数の推移（東播臨海部）

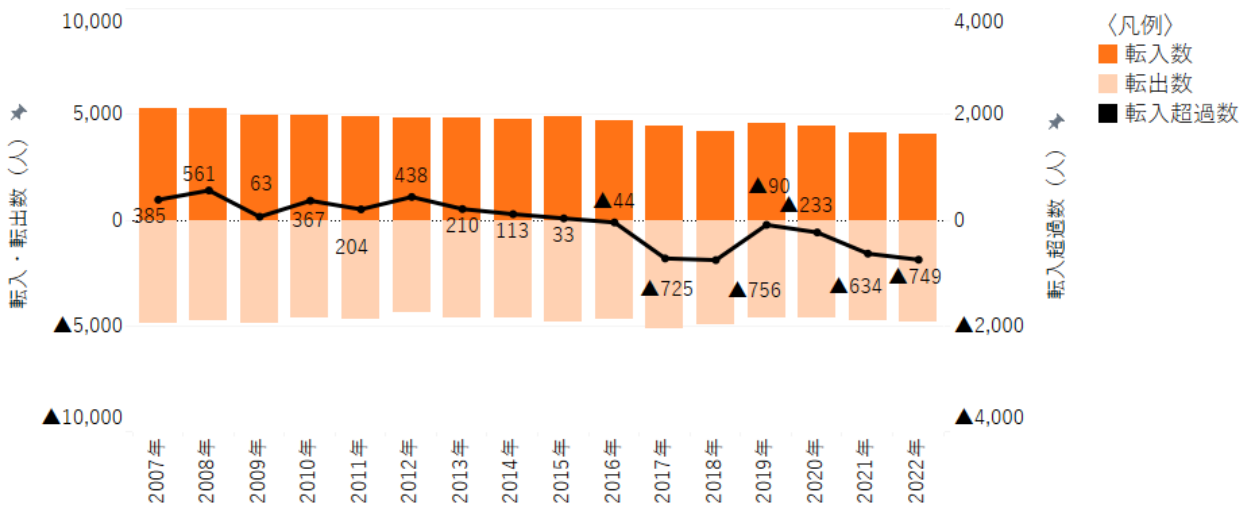


図13-3 転入超過数の推移（三木・小野・三田）

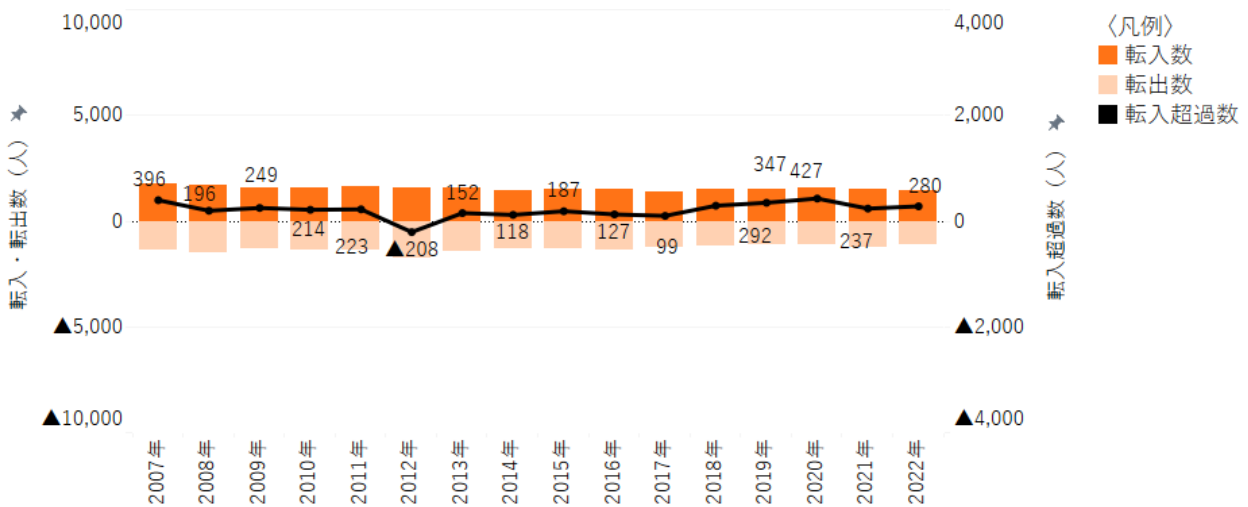


図13-4 転入超過数の推移（兵庫県下（近隣地以外））

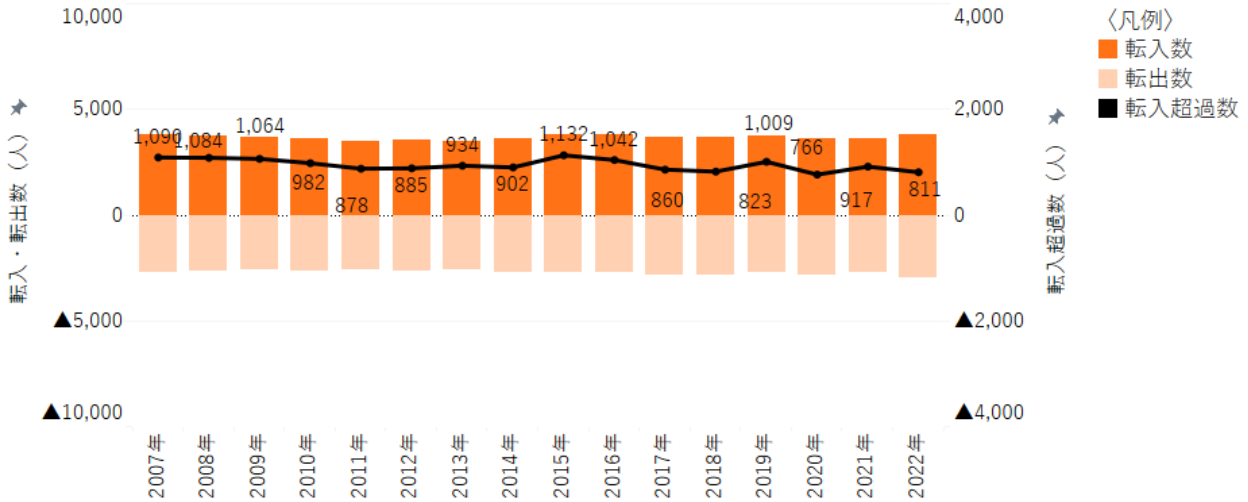


図13-5 転入超過数の推移（大阪市）

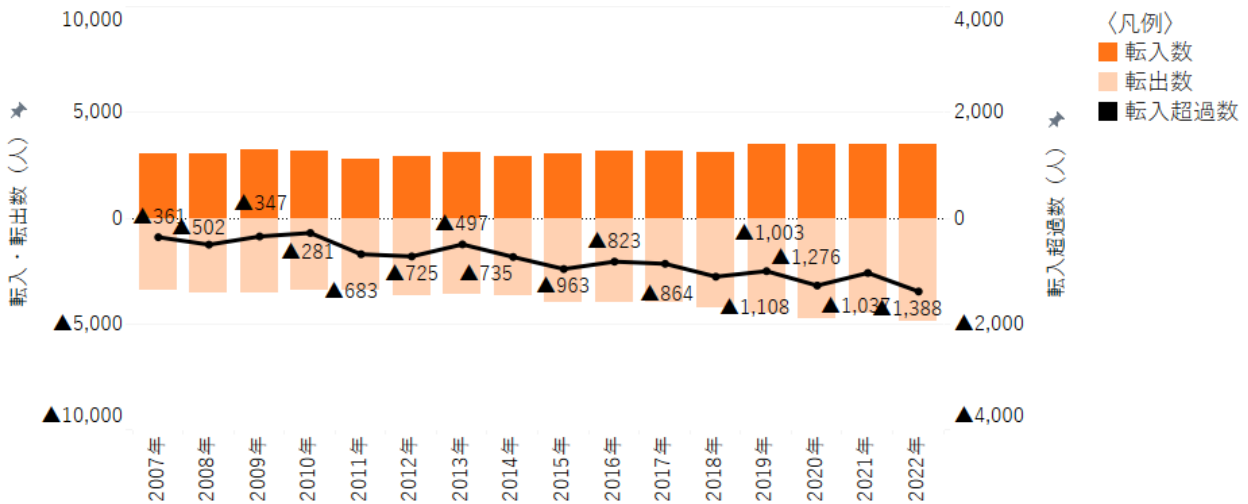


図13-6 転入超過数の推移（大阪府（大阪市除く））

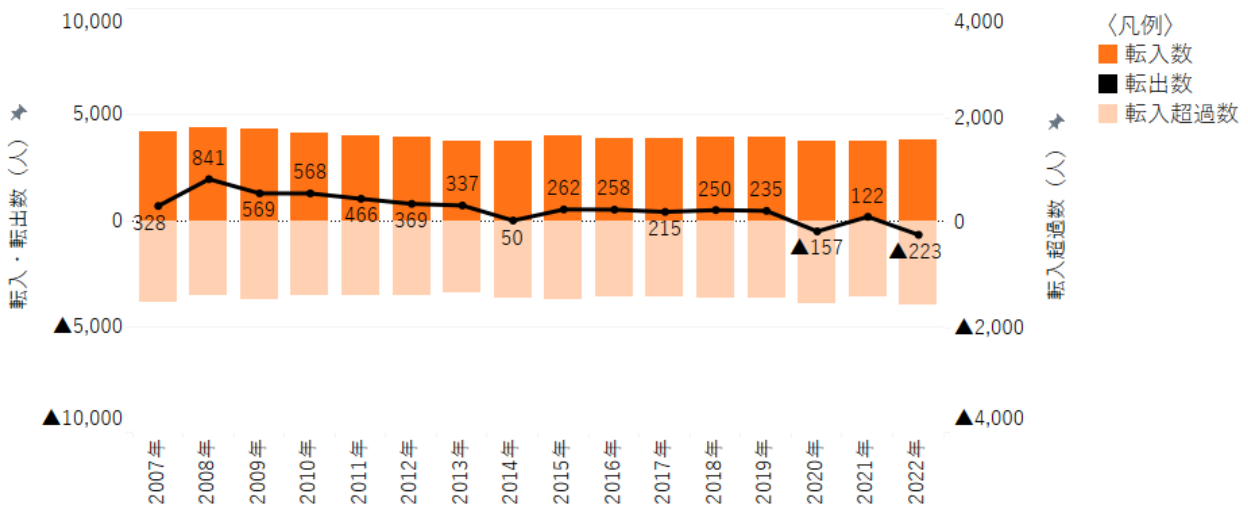


図13-7 転入超過数の推移（その他の近畿）

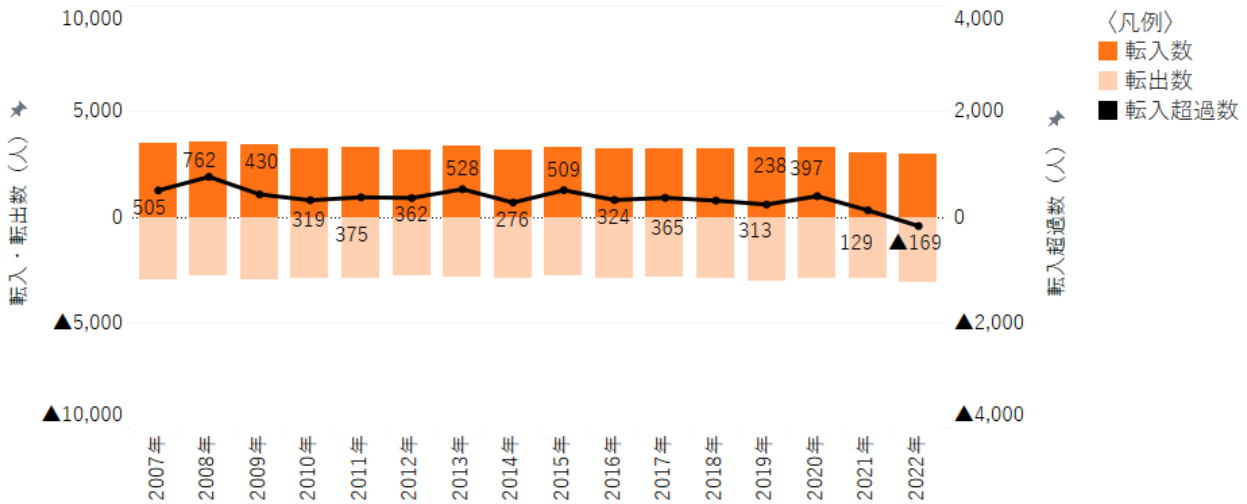


図13-8 転入超過数の推移（東京圏）

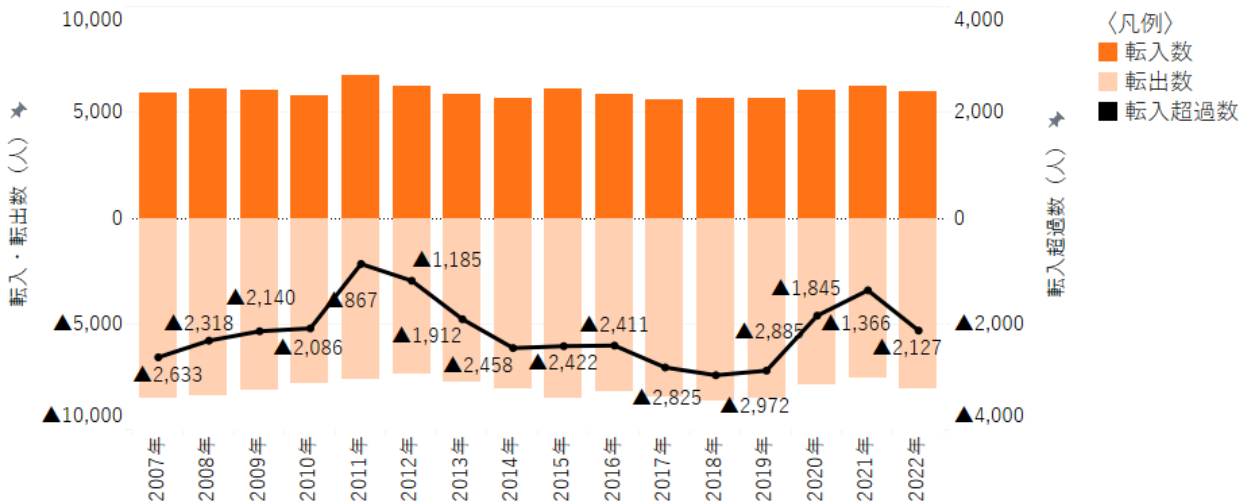


図13-9 転入超過数の推移（東日本（東京圏除く））

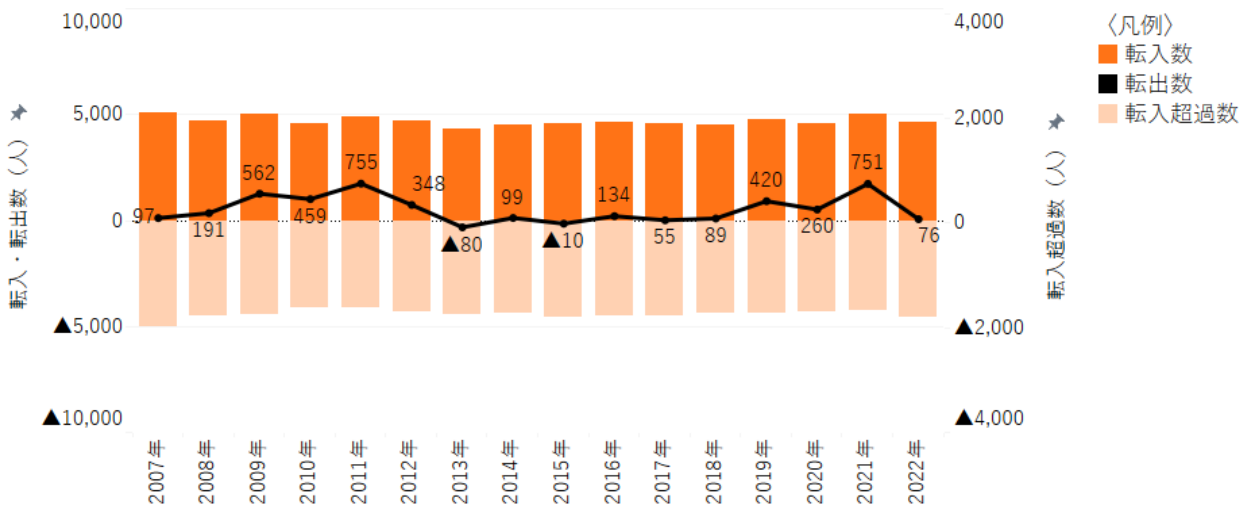


図13-10 転入超過数の推移（西日本）

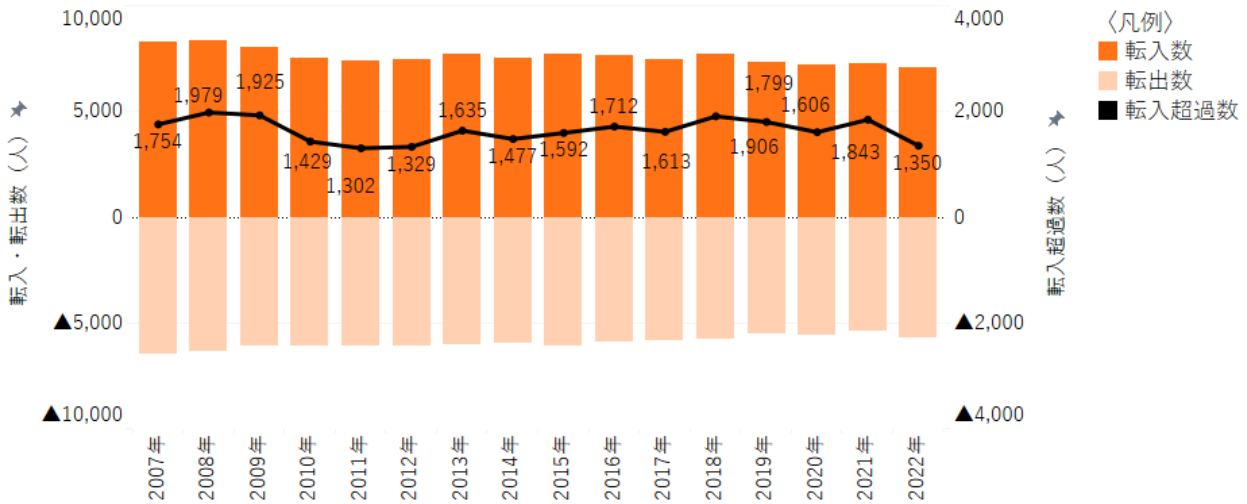
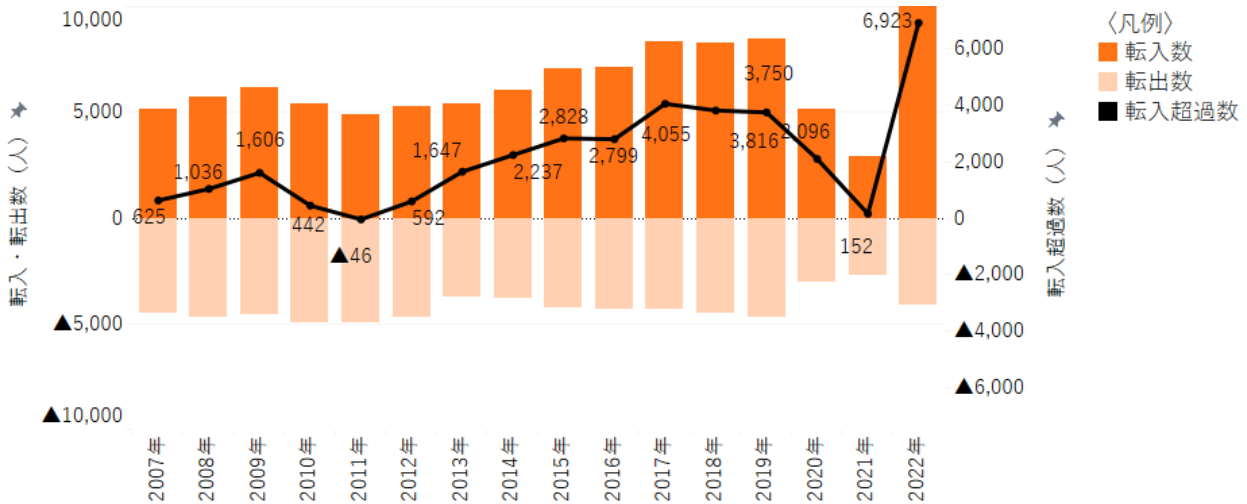


図13-11 転入超過数の推移（国外）

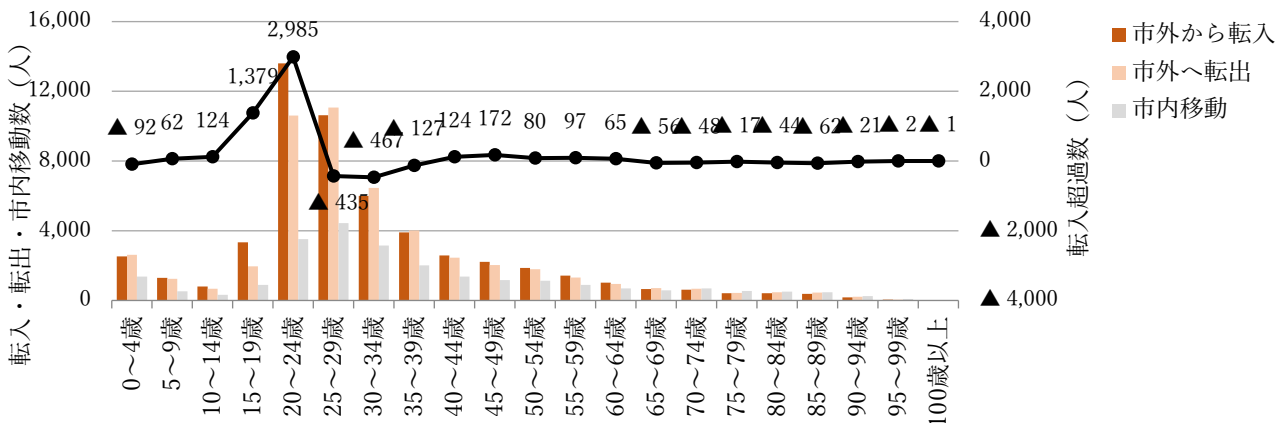


資料：長期時系列人口の動き『第5表 相手地域別転入超過数』（図13-1～11）

（2）年齢別の状況

- 市外からの転入が最も多いのは20～24歳。市外への転出が最も多いのは25～29歳。市内移動が最も多いのは25～29歳。
- 転入超過数が最も大きいのは20～24歳。対して転出超過数が最も大きいのは30～34歳。

図14 年齢別、転入超過数



資料：後掲表「第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数」

### (3) 年齢別・相手地域別の状況

- 15～19歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、東京圏など。
- 20～24歳で転入超過となった地域は東播臨海部、西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、大阪市、東京圏など。
- 25～29歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、東播臨海部、大阪市、東京圏など。

図15-1 年齢別、転入超過数（阪神間6市）

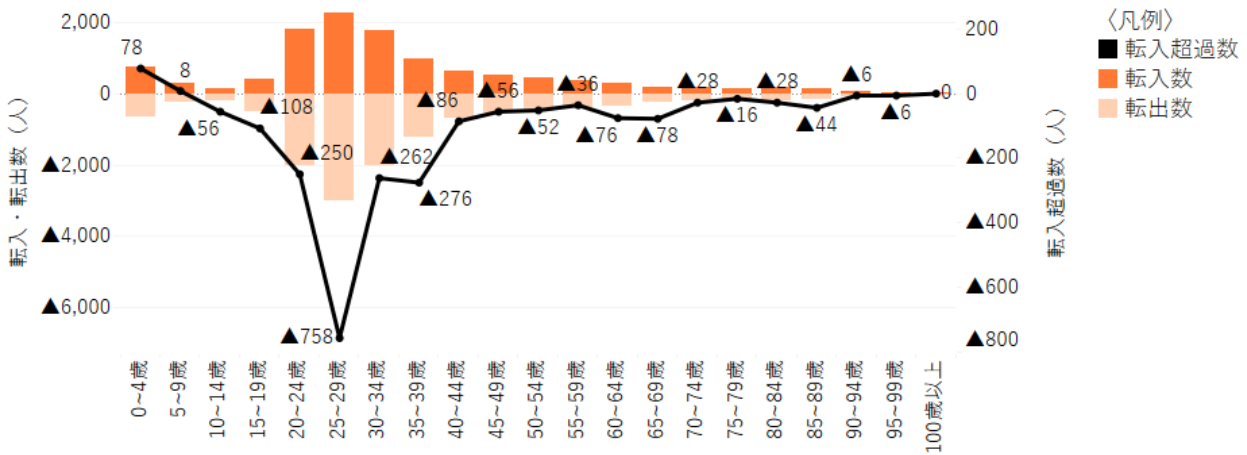


図15-2 年齢別、転入超過数（東播臨海部）

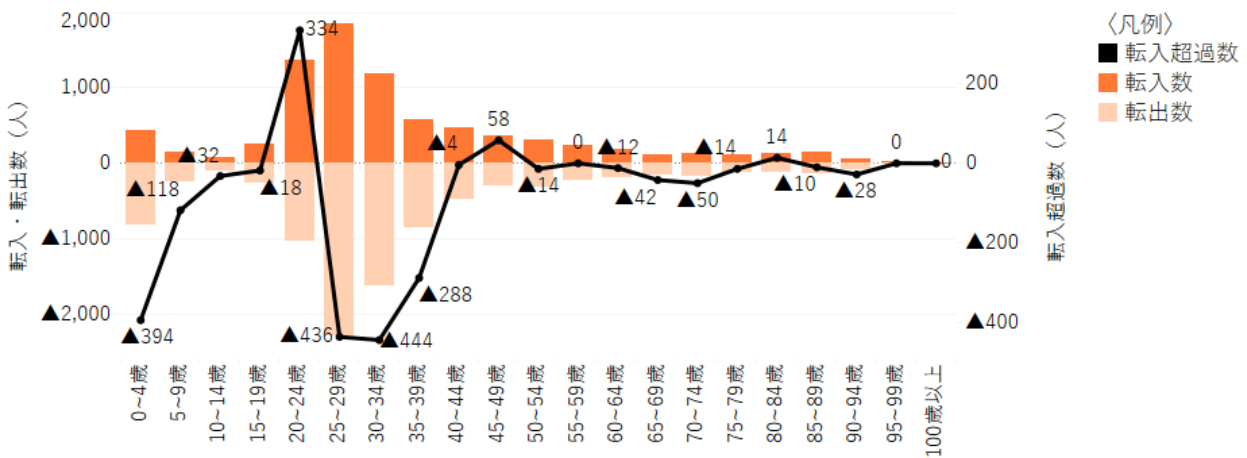


図15-3 年齢別、転入超過数（大阪市）

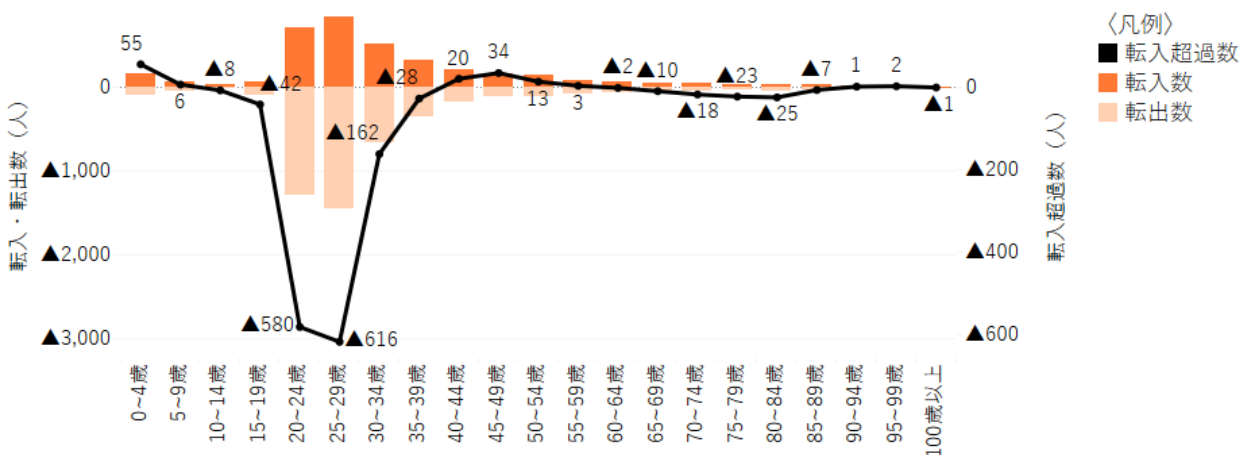




图15-4 年齢別、転入超過数（東京圏）

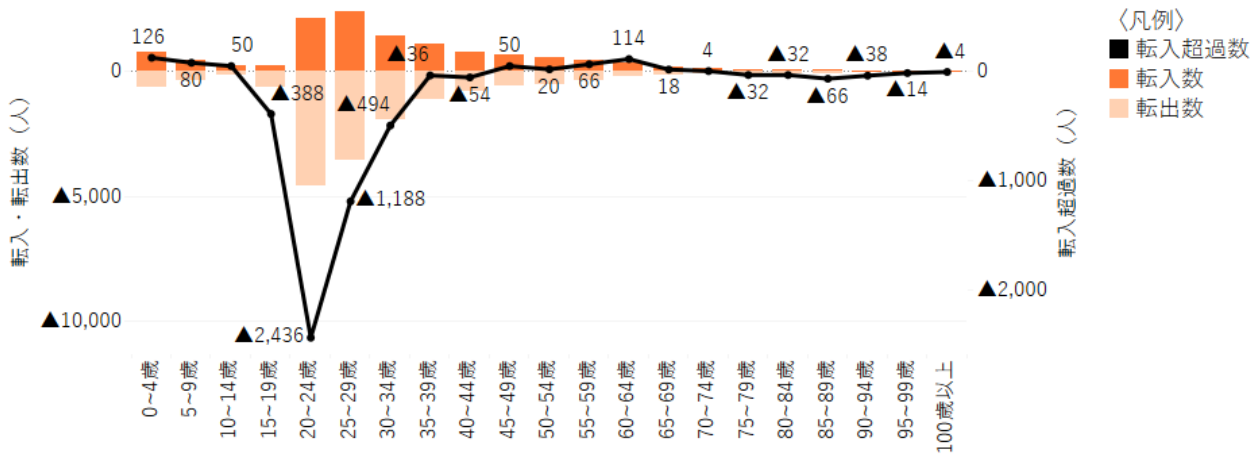


图15-5 年齢別、転入超過数（西日本）

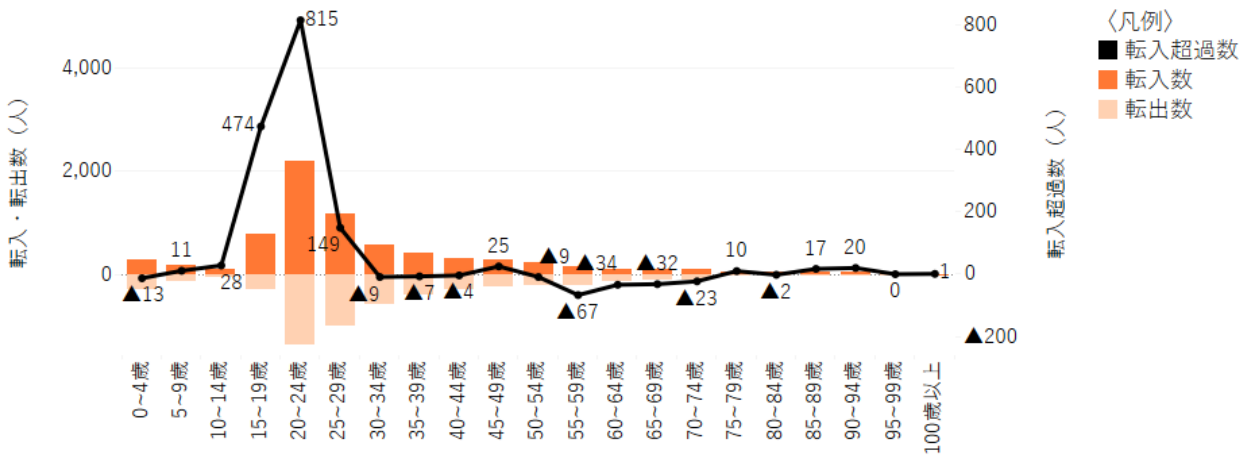
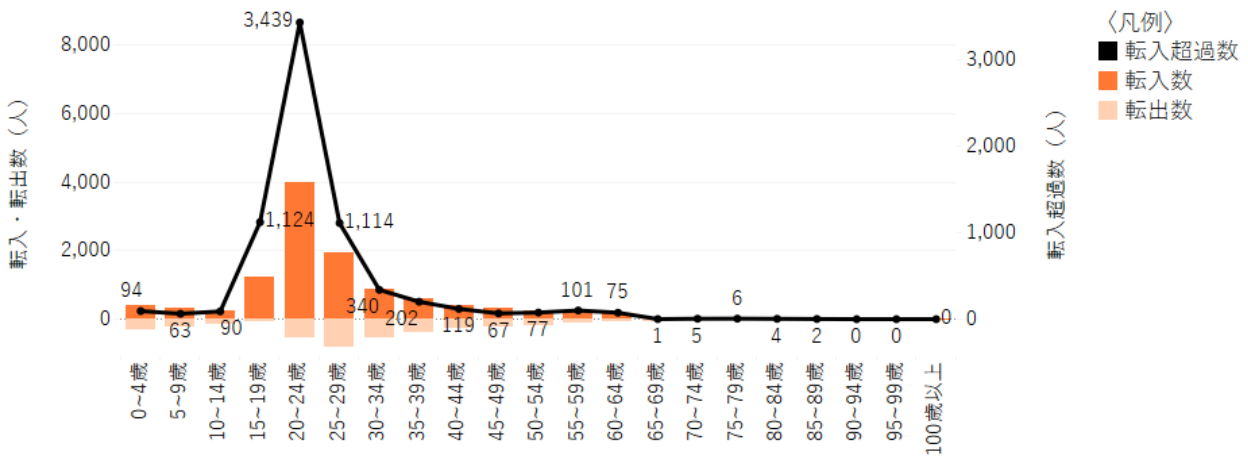


图15-6 年齢別、転入超過数（国外）



資料：後掲表『第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数』（图15-1~6）

## IV 参考表

表1 人口の動きの推移

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北本区	北神	長田区	須磨区	須磨本区	北須磨	垂水区	西区	a)西本区	a)玉津
人口増減数（人口動態）																
2007年	980	▲204	555	663	▲44	137	▲626	763	▲558	▲1,037	▲206	▲831	▲638	2,106	…	…
2008年	3,310	1,279	608	1,519	866	▲170	▲1,012	842	▲594	▲329	707	▲1,036	▲436	567	…	…
2009年	3,436	532	1,171	1,423	369	380	▲486	866	▲714	▲66	705	▲771	162	179	…	…
2010年	842	603	687	937	▲515	231	▲695	926	▲317	▲1,124	40	▲1,164	263	77	…	…
2011年	501	839	704	1,167	▲491	▲452	▲1,131	679	▲595	▲743	236	▲979	▲114	186	…	…
2012年	▲2,846	760	325	672	▲873	▲882	▲1,331	449	▲1,423	▲1,532	▲305	▲1,227	40	67	…	…
2013年	▲1,507	986	451	1,204	▲216	▲1,478	▲1,392	▲86	▲633	▲545	81	▲626	▲323	▲953	…	…
2014年	▲3,005	392	931	811	▲242	▲1,832	▲1,505	▲327	▲506	▲412	261	▲673	▲642	▲1,505	…	…
2015年	▲2,121	820	258	1,704	334	▲1,992	▲1,608	▲384	▲941	▲1,314	▲529	▲785	13	▲1,003	…	…
2016年	▲2,320	▲73	433	2,449	▲117	▲1,781	▲1,262	▲519	▲654	▲1,178	▲188	▲990	▲531	▲868	…	…
2017年	▲3,470	286	363	1,736	86	▲1,921	▲1,438	▲483	▲703	▲1,012	▲210	▲802	▲751	▲1,554	…	…
2018年	▲5,052	▲26	▲295	1,576	146	▲2,183	▲1,763	▲420	▲749	▲1,002	▲316	▲686	▲1,095	▲1,424	…	…
2019年	▲4,366	287	146	1,160	31	▲1,722	▲1,708	▲14	▲553	▲929	▲121	▲808	▲1,091	▲1,695	…	…
2020年	▲6,683	▲900	▲566	1,132	▲232	▲1,331	▲1,227	▲104	▲912	▲547	393	▲940	▲1,585	▲1,742	…	…
2021年	▲9,090	▲834	▲298	▲387	▲468	▲1,087	▲1,001	▲86	▲729	▲980	▲263	▲717	▲2,165	▲2,142	…	…
<b>2022年</b>	<b>▲6,086</b>	<b>▲793</b>	<b>▲15</b>	<b>742</b>	<b>896</b>	<b>▲1,500</b>	<b>▲1,018</b>	<b>▲482</b>	<b>▲380</b>	<b>▲1,263</b>	<b>▲243</b>	<b>▲1,020</b>	<b>▲2,558</b>	<b>▲1,935</b>	<b>▲1,547</b>	<b>▲388</b>
自然増減数（自然動態）																
2007年	▲181	564	▲28	▲218	▲426	74	▲143	217	▲546	▲104	▲86	▲18	▲88	591	…	…
2008年	▲513	437	34	▲161	▲512	▲29	▲246	217	▲600	▲198	▲144	▲54	▲48	564	…	…
2009年	▲508	493	▲15	▲221	▲439	▲2	▲219	217	▲610	▲149	▲93	▲56	▲34	469	…	…
2010年	▲1,479	407	38	▲215	▲591	▲120	▲244	124	▲604	▲349	▲137	▲212	▲311	266	…	…
2011年	▲1,642	267	▲1	▲128	▲545	▲197	▲335	138	▲697	▲312	▲128	▲184	▲259	230	…	…
2012年	▲2,473	281	▲114	▲201	▲615	▲384	▲470	86	▲839	▲475	▲225	▲250	▲345	219	…	…
2013年	▲2,586	360	▲32	▲159	▲695	▲462	▲532	70	▲771	▲416	▲137	▲279	▲472	61	…	…
2014年	▲2,863	113	▲164	▲149	▲559	▲521	▲550	29	▲821	▲391	▲109	▲282	▲352	▲19	…	…
2015年	▲3,435	156	▲98	▲143	▲622	▲714	▲652	▲62	▲783	▲501	▲180	▲321	▲573	▲157	…	…
2016年	▲3,594	74	▲88	▲102	▲568	▲765	▲677	▲88	▲834	▲548	▲231	▲317	▲480	▲283	…	…
2017年	▲4,110	21	▲150	▲77	▲631	▲809	▲640	▲169	▲849	▲638	▲271	▲367	▲545	▲432	…	…
2018年	▲5,074	▲94	▲290	▲164	▲649	▲983	▲754	▲229	▲916	▲699	▲358	▲341	▲673	▲606	…	…
2019年	▲5,645	▲150	▲381	▲171	▲626	▲1,100	▲887	▲213	▲885	▲797	▲364	▲433	▲822	▲713	…	…
2020年	▲6,064	▲277	▲405	▲113	▲644	▲1,044	▲831	▲213	▲943	▲766	▲304	▲462	▲1,011	▲861	…	…
2021年	▲8,026	▲556	▲446	▲337	▲878	▲1,294	▲946	▲348	▲1,068	▲971	▲408	▲563	▲1,376	▲1,100	…	…
<b>2022年</b>	<b>▲9,173</b>	<b>▲554</b>	<b>▲698</b>	<b>▲413</b>	<b>▲926</b>	<b>▲1,532</b>	<b>▲1,127</b>	<b>▲405</b>	<b>▲1,153</b>	<b>▲1,126</b>	<b>▲484</b>	<b>▲642</b>	<b>▲1,450</b>	<b>▲1,321</b>	<b>▲1,136</b>	<b>▲185</b>
社会増減数（社会動態）																
2007年	1,161	▲768	583	881	382	63	▲483	546	▲12	▲933	▲120	▲813	▲550	1,515	…	…
2008年	3,823	842	574	1,680	1,378	▲141	▲766	625	6	▲131	851	▲982	▲388	3	…	…
2009年	3,944	39	1,186	1,644	808	382	▲267	649	▲104	83	798	▲715	196	▲290	…	…
2010年	2,321	196	649	1,152	76	351	▲451	802	287	▲775	177	▲952	574	▲189	…	…
2011年	2,143	572	705	1,295	54	▲255	▲796	541	102	▲431	364	▲795	145	▲44	…	…
2012年	▲373	479	439	873	▲258	▲498	▲861	363	▲584	▲1,057	▲80	▲977	385	▲152	…	…
2013年	1,079	626	483	1,363	479	▲1,016	▲860	▲156	138	▲129	218	▲347	149	▲1,014	…	…
2014年	▲142	279	1,095	960	317	▲1,311	▲955	▲356	315	▲21	370	▲391	▲290	▲1,486	…	…
2015年	1,314	664	356	1,847	956	▲1,278	▲956	▲322	▲158	▲813	▲349	▲464	586	▲846	…	…
2016年	1,274	▲147	521	2,551	451	▲1,016	▲585	▲431	180	▲630	43	▲673	▲51	▲585	…	…
2017年	640	265	513	1,813	717	▲1,112	▲798	▲314	146	▲374	61	▲435	▲206	▲1,122	…	…
2018年	22	68	▲5	1,740	795	▲1,200	▲1,009	▲191	167	▲303	42	▲345	▲422	▲818	…	…
2019年	1,279	437	527	1,331	657	▲622	▲821	199	332	▲132	243	▲375	▲269	▲982	…	…
2020年	▲619	▲623	▲161	1,245	412	▲287	▲396	109	31	219	697	▲478	▲574	▲881	…	…
2021年	▲1,064	▲278	148	▲50	410	207	▲55	262	339	▲9	145	▲154	▲789	▲1,042	…	…
<b>2022年</b>	<b>2,367</b>	<b>▲239</b>	<b>683</b>	<b>1,155</b>	<b>1,822</b>	<b>32</b>	<b>109</b>	<b>▲77</b>	<b>773</b>	<b>▲137</b>	<b>241</b>	<b>▲378</b>	<b>▲1,108</b>	<b>▲614</b>	<b>▲411</b>	<b>▲203</b>

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

a) 令和4年2月の西区役所移転に伴い集計区域を改めた本区及び玉津支所となる。これにより以前の本区及び西神中央出張所の数値とは接続しない。

表2 2021年月別人口の動き

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北本区	北神	長田区	須磨区	須磨本区	北須磨	垂水区	西区	a)西本区	a)玉津
人口増減数																
1月中	▲1,403	▲178	▲100	▲232	21	▲173	▲143	▲30	▲197	▲164	▲70	▲94	▲249	▲131	▲92	▲39
2月中	▲1,593	▲160	▲195	▲165	▲167	▲191	▲177	▲14	▲103	▲61	9	▲70	▲324	▲227	▲234	7
3月中	▲3,022	▲712	▲134	2	129	▲469	▲259	▲210	▲142	▲400	▲85	▲315	▲502	▲794	▲702	▲92
4月中	2,047	429	527	710	419	18	3	15	146	45	17	28	▲102	▲145	▲88	▲57
5月中	1,244	69	118	499	672	▲95	▲41	▲54	352	▲111	19	▲130	▲195	▲65	▲72	7
6月中	▲106	39	▲32	7	82	27	9	18	48	▲78	▲25	▲53	▲97	▲102	▲48	▲54
7月中	▲148	96	▲41	42	28	▲77	▲61	▲16	▲1	▲45	5	▲50	▲122	▲28	6	▲34
8月中	▲889	10	▲49	▲98	3	▲88	▲42	▲46	▲123	▲116	0	▲116	▲278	▲150	▲123	▲27
9月中	▲973	▲188	▲63	▲113	▲98	▲123	▲97	▲26	▲106	▲109	▲57	▲52	▲146	▲27	39	▲66
10月中	▲154	▲16	138	157	76	▲84	▲57	▲27	▲96	▲60	4	▲64	▲199	▲70	▲36	▲34
11月中	▲620	▲18	▲59	37	▲52	▲77	▲26	▲51	▲46	▲140	▲55	▲85	▲135	▲130	▲133	3
12月中	▲1,189	▲164	▲125	▲104	▲217	▲168	▲127	▲41	▲112	▲24	▲5	▲19	▲209	▲66	▲64	▲2
年合計	▲6,806	▲793	▲15	742	896	▲1,500	▲1,018	▲482	▲380	▲1,263	▲243	▲1,020	▲2,558	▲1,935	▲1,547	▲388
自然増減数																
1月中	▲916	▲53	▲91	▲58	▲80	▲178	▲128	▲50	▲127	▲102	▲41	▲61	▲126	▲101	▲97	▲4
2月中	▲942	▲71	▲65	▲42	▲110	▲149	▲131	▲18	▲97	▲121	▲48	▲73	▲161	▲126	▲111	▲15
3月中	▲1,045	▲86	▲82	▲56	▲77	▲164	▲113	▲51	▲113	▲139	▲59	▲80	▲161	▲167	▲151	▲16
4月中	▲676	▲30	▲44	▲30	▲65	▲133	▲88	▲45	▲86	▲64	▲32	▲32	▲86	▲138	▲109	▲29
5月中	▲700	▲58	▲33	▲29	▲54	▲123	▲84	▲39	▲87	▲80	▲24	▲56	▲121	▲115	▲95	▲20
6月中	▲531	▲34	▲36	▲13	▲60	▲56	▲44	▲12	▲87	▲63	▲17	▲46	▲82	▲100	▲81	▲19
7月中	▲484	▲18	▲67	▲7	▲61	▲87	▲68	▲19	▲82	▲71	▲41	▲30	▲42	▲49	▲48	▲1
8月中	▲911	▲21	▲75	▲65	▲124	▲124	▲84	▲40	▲103	▲123	▲68	▲55	▲171	▲105	▲84	▲21
9月中	▲700	▲35	▲40	▲31	▲65	▲88	▲75	▲13	▲99	▲107	▲51	▲56	▲142	▲93	▲75	▲18
10月中	▲657	▲50	▲42	▲27	▲75	▲128	▲102	▲26	▲81	▲67	▲31	▲36	▲105	▲82	▲65	▲17
11月中	▲695	▲24	▲49	▲18	▲82	▲118	▲79	▲39	▲82	▲108	▲37	▲71	▲104	▲110	▲104	▲6
12月中	▲916	▲74	▲74	▲37	▲73	▲184	▲131	▲53	▲109	▲81	▲35	▲46	▲149	▲135	▲116	▲19
年合計	▲9,173	▲554	▲698	▲413	▲926	▲1,532	▲1,127	▲405	▲1,153	▲1,126	▲484	▲642	▲1,450	▲1,321	▲1,136	▲185
社会増減数																
1月中	▲487	▲125	▲9	▲174	101	5	▲15	20	▲70	▲62	▲29	▲33	▲123	▲30	5	▲35
2月中	▲651	▲89	▲130	▲123	▲57	▲42	▲46	4	▲6	60	57	3	▲163	▲101	▲123	22
3月中	▲1,977	▲626	▲52	58	206	▲305	▲146	▲159	▲29	▲261	▲26	▲235	▲341	▲627	▲551	▲76
4月中	2,723	459	571	740	484	151	91	60	232	109	49	60	▲16	▲7	21	▲28
5月中	1,944	127	151	528	726	28	43	▲15	439	▲31	43	▲74	▲74	50	23	27
6月中	425	73	4	20	142	83	53	30	135	▲15	▲8	▲7	▲15	▲2	33	▲35
7月中	336	114	26	49	89	10	7	3	81	26	46	▲20	▲80	21	54	▲33
8月中	22	31	26	▲33	127	36	42	▲6	▲20	7	68	▲61	▲107	▲45	▲39	▲6
9月中	▲273	▲153	▲23	▲82	▲33	▲35	▲22	▲13	▲7	▲2	▲6	4	▲4	66	114	▲48
10月中	503	34	180	184	151	44	45	▲1	▲15	7	35	▲28	▲94	12	29	▲17
11月中	75	6	▲10	55	30	41	53	▲12	36	▲32	▲18	▲14	▲31	▲20	▲29	9
12月中	▲273	▲90	▲51	▲67	▲144	16	4	12	▲3	57	30	27	▲60	69	52	17
年合計	2,367	▲239	683	1,155	1,822	32	109	▲77	773	▲137	241	▲378	▲1,108	▲614	▲411	▲203

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

a) 令和4年2月の西区役所移転に伴い集計区域を改めた本区及び玉津支所となる。これにより以前の本区及び西神中央出張所の数値とは接続しない。

表3 日本人・外国人別人口の動きの推移

(単位：人)

年次	日本人			外国人		
	人口増減数	自然増減数	社会増減数	人口増減数	自然増減数	社会増減数
2015年	▲ 3,420	▲ 3,364	▲ 56	1,299	▲ 71	1,370
2016年	▲ 3,497	▲ 3,541	44	1,177	▲ 53	1,230
2017年	▲ 5,197	▲ 4,038	▲ 1,159	1,727	▲ 72	1,799
2018年	▲ 6,329	▲ 5,037	▲ 1,292	1,277	▲ 37	1,314
2019年	▲ 5,645	▲ 5,597	▲ 48	1,279	▲ 48	1,327
2020年	▲ 5,635	▲ 6,018	383	▲ 1,048	▲ 46	▲ 1,002
2021年	▲ 8,077	▲ 7,953	▲ 124	▲ 1,013	▲ 73	▲ 940
<b>2022年</b>	<b>▲ 11,178</b>	<b>▲ 9,008</b>	<b>▲ 2,170</b>	<b>4,372</b>	<b>▲ 165</b>	<b>4,537</b>
東灘区	▲ 1,115	▲ 566	▲ 549	322	12	310
灘区	▲ 518	▲ 684	166	503	▲ 14	517
中央区	▲ 181	▲ 377	196	923	▲ 36	959
兵庫区	▲ 134	▲ 949	815	1,030	23	1,007
北区	▲ 1,815	▲ 1,524	▲ 291	315	▲ 8	323
長田区	▲ 1,035	▲ 1,085	50	655	▲ 68	723
須磨区	▲ 1,363	▲ 1,080	▲ 283	100	▲ 46	146
垂水区	▲ 2,759	▲ 1,434	▲ 1,325	201	▲ 16	217
西区	▲ 2,258	▲ 1,309	▲ 949	323	▲ 12	335

表4 自然動態の推移

(単位：人，%)

年次・区	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	a)
							人口 (10月1日現在)
2007年	▲ 181	12,792	12,973	▲ 0.12	8.35	8.47	1,532,428
2008年	▲ 513	12,878	13,391	▲ 0.33	8.38	8.72	1,536,433
2009年	▲ 508	12,981	13,489	▲ 0.33	8.42	8.75	1,541,214
2010年	▲ 1,479	12,979	14,458	▲ 0.96	8.40	9.36	1,544,200
2011年	▲ 1,642	12,954	14,596	▲ 1.06	8.38	9.45	1,544,970
2012年	▲ 2,473	12,636	15,109	▲ 1.60	8.19	9.79	1,543,075
2013年	▲ 2,586	12,437	15,023	▲ 1.68	8.07	9.75	1,541,169
2014年	▲ 2,863	12,218	15,081	▲ 1.86	7.94	9.79	1,539,755
2015年	▲ 3,435	12,140	15,575	▲ 2.23	7.90	10.13	1,537,272
2016年	▲ 3,594	12,124	15,718	▲ 2.34	7.89	10.22	1,537,467
2017年	▲ 4,110	11,565	15,675	▲ 2.68	7.53	10.21	1,535,559
2018年	▲ 5,074	10,711	15,785	▲ 3.31	6.99	10.30	1,532,515
2019年	▲ 5,645	10,468	16,113	▲ 3.69	6.84	10.53	1,529,756
2020年	▲ 6,064	10,100	16,164	▲ 3.98	6.62	10.60	1,525,152
2021年	▲ 8,026	9,537	17,563	▲ 5.29	6.29	11.58	1,517,073
<b>2022年</b>	<b>▲ 9,173</b>	<b>9,196</b>	<b>18,369</b>	<b>▲ 6.07</b>	<b>6.09</b>	<b>12.16</b>	<b>1,510,171</b>
東灘区	▲ 554	1,501	2,055	▲ 2.61	7.08	9.70	211,923
灘区	▲ 698	861	1,559	▲ 5.11	6.31	11.42	136,476
中央区	▲ 413	1,045	1,458	▲ 2.79	7.06	9.85	148,010
兵庫区	▲ 926	714	1,640	▲ 8.43	6.50	14.92	109,895
北区	▲ 1,532	1,128	2,660	▲ 7.36	5.42	12.79	208,030
本区	▲ 1,127	609	1,736	▲ 9.02	4.87	13.89	124,975
北神	▲ 405	519	924	▲ 4.88	6.25	11.13	83,055
長田区	▲ 1,153	503	1,656	▲ 12.29	5.36	17.65	93,842
須磨区	▲ 1,126	978	2,104	▲ 7.19	6.25	13.44	156,592
本区	▲ 484	454	938	▲ 6.75	6.34	13.09	71,665
北須磨	▲ 642	524	1,166	▲ 7.56	6.17	13.73	84,927
垂水区	▲ 1,450	1,256	2,706	▲ 6.88	5.96	12.84	210,717
西区	▲ 1,321	1,210	2,531	▲ 5.63	5.16	10.78	234,686
b)本区	▲ 1,136	959	2,095	▲ 5.90	4.98	10.88	192,543
b)玉津	▲ 185	251	436	▲ 4.39	5.96	10.35	42,143

注) 自然増減率，出生率，死亡率は，各年10月1日現在の人口1,000人当たりの率である。

2007年～2009年，2011年～2014年，2016年～2019年は，それぞれ2005年，2010年，2015年，2020年に実施した国勢調査の確定数を基に修正した修正推計人口である。

a) 2010年，2015年，2020年は国勢調査結果，それ以外は推計人口である。

b) 令和4年2月の西区役所移転に伴い集計区域を改めた本区及び玉津支所となる。

これにより以前の本区及び西神中央出張所の数値とは接続しない。